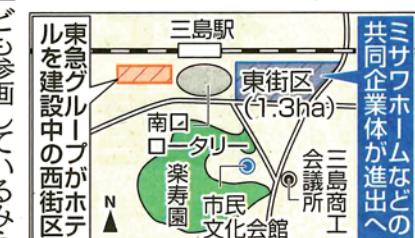


3月30日
金曜日

東街区ミサワホームJV

「伊豆の玄関口」に道筋

三島市が三島駅南口東街区で進める再開発の事業者公募で、ミサワホームを代表とする共同企業体(JV)が最優秀提案者に選ばれたことが、29日までに関係者が取材で分かった。地権者との協議がまとまれば5月にも事業者に正式決定する。同駅は伊豆半島の玄関口として重要性を増していく、ロータリーを挟んだ西街区でも東急グループのホテルが建設中。地域課題だった来訪者の受け入れ環境整備が大きな局面を迎えている。



三島駅南口は不況の一場として使われてき進した格好になる。
影響などで東街区、西た。2016年末に西街区とも約20年にわたった具体的な活用方針が決まり、暫定駐車区でも事業化に向け前三菱地所レジデンスな

三島支局・河村英之
(三島支局・河村英之)

事業案を提示したとみられる。市の計画では、事業

都市的価値評価か

面積は1・3haで20年の着工、23年の完成を目指す。開発行為に当たっては地域財産である地下水を守ることが前提条件になつてい

る。知事懸念の経緯も三島駅南口東街区の再開発計画を巡つては川勝平太知事が懸念を表明した経緯もある。知事は昨年12月の定

例記者会見で、地元のNPO法人から富士山眺望への影響を心配する声があるとし、「地理解が十分ではない」と危惧している「拙速でない方が良い」などと発言した。

これに対し豊岡武市長は「(知事が事業内容を)理解していい部分がある」として直接説明する意向を示している。

三島駅前の開発事業が進展した背景には、首都圏に近い三島市の都市的な価値に対する高い評価が働いたとみられる。同市は鉄道や道路の外の飲食店が新規出店するケースも相次ぐ。27日に発表された公示地価は三島駅南口が沼津駅前を上回った。地

も少なくない。商店街や幹線道路沿いに県内外の飲食店が新規出店するケースも相次ぐ。27日に発表された公示地価は三島駅南口が沼津駅前を上回った。地域に好影響をもたらすはず」と歓迎する。東街区の再開発には最優秀提案者に選ばれた共同企業体以外にも有力なデベロッパーなどが高い関心を示していたとされる。市内関係者の間では「数年前では考えられない状況で、この好機を逃す手はない」との期待感が高まっていた。